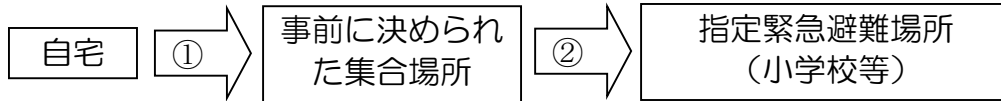


指定避難所等への避難誘導

人数	時間	場所	用意するもの
10人～	60分～	実際に住んでいる地域	点呼表、ハザードマップなど

〈活動例〉 ※安否確認訓練と併せて行うと効果的です。



- ① 各自隣近所の安否を確認しながら、事前に決めた集合場所に避難しましょう。
また、避難訓練の際に非常持出品を持参すると効果的です。
集合場所では組、町内会（自主防）単位で人員点呼を行います。
 - ② 自主防災会長や組長を中心に要配慮者の避難支援や避難経路の確認（危険箇所）をしながら避難しましょう。
- ※「ナゴヤ避難ガイド」により、指定緊急避難場所、指定避難所にいたる避難経路を複数把握しておきましょう。地域で要配慮者の把握及び支援体制を整えましょう。

○指定緊急避難場所…命を守るため、災害の危険から逃げるための場所
(災害種別ごとに異なる。)

○指定避難所…自宅が被災して帰宅できない場合に一定期間、避難生活を送る場所

